

◆講座&イベント情報◆

ほ도가や市民活動センター「アワーズ」では

市民活動団体・生涯学習講座などのチラシも多数配架しています。ぜひお気軽にご来館ください！

ほ도가やサンタプロジェクト2024

～ほ도가やのサンタは私たち！ 4つのサンタ活動でまちに笑顔をプレゼントしちゃおう！～

- 日時 12月14日(土) 9:50集合 10:00開始 (会場アワーズ) ※各会場で異なる
■会場 ほ도가や市民活動センター「アワーズ」・ナイス住まいの情報館・帷子小学校コミュニティーハウス
■参加費 無料 ※出展ブースにより参加費あり
■申込 アワーズ窓口かWEBフォームから
■主催 ほ도가やサンタプロジェクト2024運営委員会
■問合せ ほ도가や市民活動センター「アワーズ」 電話:045-334-6306



はぐくみ塾 元スポーツ選手とあそぼう！ 3回講座 定員20名！

- 日時 1月18日(土)・25日(土)・2月24日(月・祝) 9:30~11:30
■会場 ほ도가や地区センター、保土ヶ谷小学校 ※開催日により異なる。
■参加費 参加無料
■申込 締切12月19日(木) チラシQRコード、メールから / mail: ho-manabi@city.yokohama.lg.jp
■共催 チャレンジスポーツ運営委員会 / 保土ヶ谷区役所
■問合せ 保土ヶ谷区地域振興課生涯学習支援係 TEL:045-334-6308



ほ도가やパソポラ「初めての初級講座」受講生募集

- 日時 1月分:6日(月), 10日(金), 14日(火), 17日(金), 21日(火), 24日(金)
2月分:3日(月), 7日(金), 10日(月), 14日(金), 18日(火), 21日(金)
3月分:3日(月), 7日(金), 11日(火), 14日(金), 17日(月), 21日(金)
■時間 9:30~12:30 (1回3時間×6回)
■募集 各月8名(先着順)
■会場 保土ヶ谷区川辺町5-11「かるがも」3階
■参加費 2,000円(テキスト代含む)
■申込 はがき、メールで氏名、年齢、住所、電話番号、マイパソコンの有無、希望日を記入。
■問合せ ほ도가やパソポラ 佐藤 090-4412-4078 (月~土9:00-18:00)



「発見ウォーク」江戸の玄関口「東海道品川宿」を巡るコース 新コース

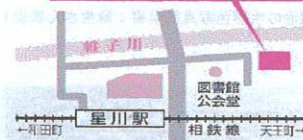
- 日時 1月26日(日) 最終出発 9:30 解散予定 12:30
■集合 京急北品川駅 改札口 解散場所 京急青物横丁駅
■申込 ホームページ、FAX (045-339-5120) 参加者全員の氏名(ふりがな)、住所、携帯、電話番号を明記してください。
■参加費 500円
■問合せ NPO法人 保土ヶ谷ガイドの会
■詳細 https://t-hodogaya-gaido.jimdofree.com/



地域活動の情報を大募集！

ほ도가や市民活動センター情報紙「OURS」は、年4回発行します。3月・6月・9月・12月(予定) 皆様の団体のイベント情報や活動の紹介などを掲載することができます。詳しくはアワーズまでお問合せください。随時、配架先も募集しています。

ほ도가や市民活動センター



★情報紙アワーズを配架いただいています！！

保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷区内の地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザ、保土ヶ谷区社会福祉協議会、地域子育て支援拠点こころ、保土ヶ谷図書館、保土ヶ谷公会堂、岩間市民プラザ、横浜市内各区の市民活動センター、横浜市社会教育コーナー、保土ヶ谷スポーツセンター、ほ도가や国際交流ラウンジ、WEショップ星川店・天王町店、美容室カノン、ハッピースクエア、ふれあいショップクレヨン、かたばら・スペース・しばた、偕恵いわまワークス、星川郵便局、カフェ&フラワー ローズマリー、相鉄線(保土ヶ谷区内の駅)、旭区社会福祉協議会、旭区民文化センター サンハート、旭区市沢地区センター、ナイス住まいの情報館、JR保土ヶ谷駅、NPO法人ぎんがむら、かながわアートホール、保土ヶ谷公園管理事務所、帷子番所、狩場緑風荘、川島町公園子どもログハウス、瀬戸ヶ谷スポーツ会館、かながわ県民活動サポートセンター、かながわコミュニティカレッジ、横浜市青少年育成センター、横須賀市生涯学習センターまなびかん、イオン天王町ショッピングセンター、横浜市民協働推進センター、YADORESI、(順不同)

開館時間
・月曜日~土曜日 9:00~21:00
・日曜日/祝日 9:00~17:00
・休館日 12/16・1/20・2/17

ほ도가や市民活動センター 情報紙

2024.12 発行 =No.57=

OURS

いつものまちで新たな一歩

みんなが楽しめる地域の居場所！



- 目次
1. 繋がりがづくり・居場所づくりの「はじめの一歩」！
2. ほ도가や若い世代のリレーインタビュー！
3. 区民が語る「その時！保土ヶ谷で！」
4. 講座&イベント情報



編集発行:ほ도가や市民活動センター(アワーズ)
〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川1-2-1
TEL:045-334-6306/FAX:045-339-5120 MAIL:toiawase@hodogaya-ours.jp



繋がりがづくり・居場所づくりの「はじめの一歩」!?

人それぞれの暮らし方がある中で、「地域」や「まち」として大切な繋がりがありません。プライバシーの問題や、安全面、めんどくさいなど様々な課題を考慮しながら、「地域」や「まち」の中に小さくても繋がりを残す必要があると感じる今日この頃。区内で活動している居場所を紹介します。あなたの居場所をみなさんと一緒につくってみませんか？

見上げると、いつでも誰にでも同じようにそこにある、空のように!

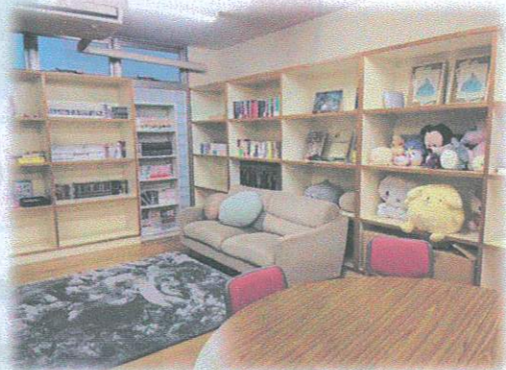
~NPO法人 居場所そら~

地域で地域の子どもを育てよう!



NPO法人 居場所そら HP QRコード

学校に行きづらい子どもたちに声をかけよう、子どもだけでなく大人もお年寄りも、みんなの居場所になろう!—そんな思いで活動しているNPO法人「居場所そら」を訪ねて、橘中学校にお邪魔しました。「最初はPTAの役員仲間から活動を始めました。教室に入りづらい子どもたちがフラッと来て居られる場所があればいいな、と」話してくれるのは理事の水信理恵さんです。



橘中学の1室を借りている「そらルーム」は、平日日中に生徒が「お家」のように安心してくつろげる居場所を設けているほか、毎週水曜日の放課後には「カフェ」のようにゆったり過ごせる場所として開放。ゲームをしたり本を読んだり絵を描いたり、思い思いに楽しんでいるそうです。横浜国大の学生に先生をお願いして無料の校内塾を開いたり、校内の花壇を整備したり、活動は多彩です。

月に1度、小学生~高校生と保護者にも対象を広げた「そらカフェ+」も開催しています。

「来てくれる子どもたちはもちろん、大人も含めた地域のみんなの居場所です。子どものために何かを、というより、私たち大人も楽しく意識しています。」と秘訣を話してくれます。

「卒業生も遊びに来てくれて、楽しみながら手伝ってくれます。自治会との連携も進みました。」

同じ学区の仏向小学校地域学校協働本部に協力して開催している「地域たかの子祭り」は、朝から仏向小の校門に行列ができる大賑わいでした。子どもたちの発表のほかにも地域の商店街、施設、サークルなどがゲームや体験のコーナーを運営。いつもの学校が、この日はテーマパークのようです。地域のNPOの地道な取り組みが多世代を巻き込んで、元気な地域を作っています。大切なことは、みんながその時、その場を楽しむことです。



茶話会に参加しませんか!?

~アワーズ協働運営会議~

あなたが思う活動の意見交換会!

アワーズと利用者・団体をつなげる「協働運営会議」は、奇数月の10日に集まって日頃の活動について気軽に話し合える茶話会を今年から始めました。活動のPRをしたい人、メンバーの募集や団体の運営について相談したい人、あなたもちょっと覗いてみませんか?

9月の茶話会では、設立に先立って活動団体の皆さんが、どんな施設になるといいか夢を語り合った当時の様子を思い出しながら話を進めました。地域で活動する市民団体の姿も、だいぶ様変わりしています。15年前にみんなが願っていた「市民活動・生涯学習が地域に根付き、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現するため」の拠りどころとなるセンターは、どこまで実現しているのでしょうか。

会議を代表する清水蓬山さんは、「多くの方にご参加いただいてコロナ前の活発な活動を取り戻したい。同じように望んでる人たちの交流を図ってつながりの場にしたい。」と今後の抱負を話してくれました。

協働運営会議は、アワーズに登録している利用者・団体ならどなたでも! 随時参加者を募集中です。茶話会の見学はいつでもどうぞ。ご希望の方は、下記にお問合せください。

ほどがや市民活動センター「アワーズ」

<TEL> 045 - 334 - 6306 <E-mail> toiwase@hodogaya-ours.jp



区制100周年へ向けて! ~ほどがやの今昔を伝える~

ほどがや 若い世代のリレーインタビュー!



第3回 こんにちは隣の〇〇さん!

ホン・アンディさん

VADORESI 住民



VADORESIの「はなれマド」に立つ:ホン・アンディさん

~自分を活かして誰かのために~

アンディさんが今年4月から星川~天王町間の高架下「星天qlay」のシェアレジデンスで暮らすようになって、約半年。地域の人と知り合い、ふれあいの輪が広がっています。

「初めの1か月、毎朝自分の思いを紙に書いて歩道に面した『はなれマド』に貼り出しました。」—漢字と英語で、思いついたその日の言葉を、窓から発信することから、アンディさんと地域とのつながりはスタートしました。「保土ヶ谷は、水辺が豊かで、ビジネスパークもあり、商店街など生活のための機能がそろっています。環境がよく、子どもたちの笑顔が見られるのがうれしい。」と、今ではすっかり地元で親しんだ様子が見えます。

「イベントで何かを一緒にやるのが好きです。私は、自分を活かして誰かのためになればいいと願っていますが、具体的な形が決まっていなくて、この場で知り合う人とかかわりながら探したいのです。」

そんなアンディさんが取り組んでいるのは、星川駅のqlaytion gallery (クレイションギャラリー) で月1回開いている英会話カフェです。

「20~60代くらいの英会話好きの人が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりしています。英会話というのは手段で、人と話をするのが好きなんです。」とのことで、20人くらいが集まっています。

qlaytion galleryの情報はこちら

<https://www.hoshiten-qlay.com/shop/qlaytion-gallery/>



次回はアンディさんが紹介してくれたお友だちにバトンタッチします!



区民が語る「その時! 保土ヶ谷で!」



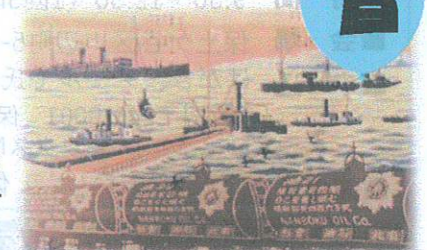
教科書では教えてくれない「ほどがや」

今井川のほとりに!!



南北橋を案内してくれる麻生さん

日本最初の輸入原油製油所「南北石油」



「明治の手彩色写真絵葉書:麻生さん提供」

「天王町駅東口を出て旧帷子橋のモニュメントがある公園を抜け、信号を渡りまっすぐ今井川に出ると『南北橋』という小さな橋があります。」—今井川が帷子川に合流するちょっと手前です。今回は、保土ヶ谷ガイドの会の麻生民次さんに現地をガイドしていただいております。

「橋を渡ると左手に西久保町公園とURの高層マンションが建っています。この場所に明治39年、日本で初めて原油を輸入して精製する製油所が造られ、ランプ用の灯油、ディーゼルエンジン用の軽油と重油とアスファルトが生産されました。保土ヶ谷にあった『南北石油』が、日本の輸入石油発祥の地です。」明治時代のタンカーは今のようには大きくなく、小さなダルマ船が横浜港から川をさかのぼって、今井川まで原油を運んだそうです。当時、アメリカからの輸入原油は安く、消費地に近い保土ヶ谷で生産できることは魅力でした。しかし、外国産の原油は供給が不安定で、新たに関税が設けられたり、悪臭や漁業被害が問題になったり、残念ながら保土ヶ谷製油所はわずか5年ほどで作業を停止しました。

「明治の手彩色写真絵葉書:麻生さん提供」

「その後、この地は東洋電機が電車の電動機の工場を造って、日本の電車のモーターの95%はそこで生産されました。他にも日本で初めてステンレスを作った金属工場も近くあって、保土ヶ谷は京浜工業地帯の中核を担った時代があったのです。『南北橋』の名は、そんな時代の名残を今に伝えています。」と町の歴史を話してくれた麻生さんは、現在、南北石油の製油所跡地に建っているマンションで暮らしているそうです。

